

別紙1：「IRUD」の3本柱と、その成果を発展させる「IRUD Beyond」

希少・未診断疾患患者に対して、「包括的診断体制の全国整備」、「次世代シーケンサーを含めた革新的検査の利活用」、「海外とも共有可能な臨床情報データベースの確立」を3本柱として、診断確定を目指す社会還元型研究開発プロジェクト「IRUD」と、その3本の柱をそれぞれ、「診断から治療等への橋渡し」、「診断率のさらなる向上」、「さらなるデータシェアリング等による国際連携」へと発展させる新たな研究分野「IRUD Beyond」をAMEDが推進している。

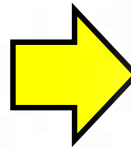


未診断疾患イニシアチブ：
IRUD



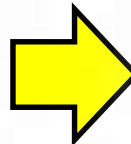
IRUD Beyond

全国34の拠点病院を含む
数百の連携病院による未診断
患者の包括的診断体制を整備



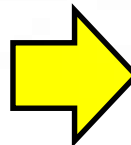
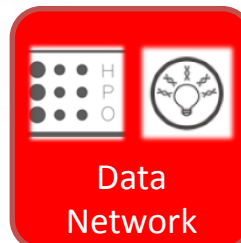
診断から治療へ：
遺伝子治療など新たな
難病治療の可能性

次世代シーケンサーによる
網羅的遺伝学的解析を含めた
革新的検査を活用し
疾患の原因を解析



より多くの確定診断へ：
ゲノム解析を超えた
更なる診断率の向上

海外とも共有可能な臨床情報の
データベースを確立し、
未診断患者の診断確定に
大きく貢献



国際連携を医療へ：
データシェアリングに
よる医療研究開発の推進

